

2026年2月27日

千葉工場が「エネルギー管理優良事業者等 関東経済産業局長表彰」を受賞

住友化学は、このたび、当社千葉工場（千葉県市原市）が、経済産業省関東経済産業局（以下、関東経済産業局）から「令和7年度エネルギー管理優良事業者等 関東経済産業局長表彰」（以下、本表彰）を受賞したことをお知らせします。当社として、本表彰の受賞は初めてとなります。



授賞式の様子

本表彰は、毎年、関東経済産業局が、省エネルギーの一層の普及促進を図るため、貢献が顕著であった功績者および優良事業者等を対象として授与するものであり、本年度、当社が受賞した「エネルギー管理優良事業者等」では、4者が選ばれました。

千葉工場では、高効率ガスタービンコージェネレーション設備（以下、高効率ガスタービン）を導入し、積極的な省エネルギー活動を推進しています。大規模なCO₂排出量削減を実現し、エネルギー使用を最適化したことで、環境負荷低減に大きく寄与した点が高く評価され、今回の受賞に至りました。

高効率ガスタービンは、2024年3月に千葉工場に導入されました。従来のCO₂排出割合が高い石油コークス（PC）ボイラーと、効率の低い復水発電設備の使用時に比べ、年間約24万トンのCO₂排出削減を達成しています。さらに、発生した蒸気の一部は工場内の各種プロセスに有効活用され、グループ企業への電力供給にも使用されることで、設備の能力を最大限に引き出した効率的な操業を実現しています。

住友化学は、30年度までに温室効果ガス排出量（Scope1,2※）を13年度比で50%削減する方針を策定しています。千葉工場では、今回受賞した高効率ガスタービンの導入の他にも、24年4月以降、従業員の通勤や移動に用いるEVバスとEV社用車を順次導入し、25年8月には、年間発電量1.1MWhのソーラーカーポートを設置し、発電された再生可能エネルギーを製造現場の設備稼働やEV車の充電に充てるなど、Scope1の削減への取り組みを進めています。

住友化学は、今後もカーボンニュートラルに向けた各種取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



高効率ガスタービンコージェネレーション 外観

※Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope2：工場外からの電力・熱の購入などによる間接的な排出

<ご参考>

2025年度 環境・安全レポート 千葉工場のレスポンシブル・ケア活動

https://www.sumitomo-chem.co.jp/sustainability/information/library/files/docs/2025csr_chiba.pdf

2026年2月5日付 関東経済産業局 ニュースリリース

令和7年度エネルギー管理功績者及びエネルギー管理優良事業者等 関東経済産業局長表彰の受賞者を決定しました

https://www.kanto.meti.go.jp/press/data/20260205shouene_hyouyou_press.pdf

2020年10月5日付ニュースリリース

千葉工場に高効率なガスタービン発電設備を新設 ～年間で24万トン以上のCO2排出を削減～

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/news/detail/20201005.html>

以上



住友化学株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒103-6020 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー

TEL:03-5201-0220 Email: sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp



公式 YouTube